

公表

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名		小さな目のクジラ 津・久居				公表日	2026年 1月 26日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	11				
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	10	1		送迎を行う学校区が多い際、人手が足りないと思う場面がある。	
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9	2		階段が急なため、昇降の際は見守りが必要だと感じる。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	11		毎日終業時に溶剤をしようしての清掃は徹底している。また変化点でのアルコール消毒も徹底している。		
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	11				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	11		日々のミーティングにて情報を共有出来ている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	1		評価表以外にも日常から保護者の方からのご意見を基に業務改善を行っております。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		11			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	11				
支援体制	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	11				
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	11				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10	1			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	11		個々の情報を閲覧すり書庫にて確認を行う事が出来る。		
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10	1	日々の療育記録による意見交換や子供の特性についての行動観察を日々共有しています。	日々の療育活動だけでなく、ご家庭や学校での様子からスタッフでアセスメントを重ね、お子様たちの個別支援計画に反映しています。	

適切な支援の提供	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	11		職員間で話し合いを重ね、必要な項目を考えた上で、支援内容を設定しています。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	11		ベースとなる活動に対し、どの様に工夫するか連携を図っています。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	11		同じ内容の活動があっても内容を変化させ工夫を図っています。	
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	11			
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	11			
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	3		終業時、すでに退社される従業員もいる為、翌日のミーティングにて情報共有を行っている。
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	11			
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	2	定期的なモニタリングだけでなく、日々の聞き取りや連絡帳の内容を共有し実施しています。	
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	8	3		地域との交流を図る目的でボランティア活動で清掃活動を始めたが、どの様に活きてきているか判断途中である。
	25 子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	11		物事の決定を本児の意思に任せ強要の内容を取り組んでいます。	
関係機関や保護者との連携	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	11		児童発達支援管理責任者が参加しています。	
	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	11		必要に応じて連絡を行い連携を図っています。	
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	11		学校お迎え時に可能な限り学校行事や下校時間の変更の確認を行い、必要に応じて各学校に電話連絡して情報共有しています。	
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	11		児童発達支援事業所と引き継ぎを行っています。	
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	11		卒業前より相談支援事業所との連携を図っています。	
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		11		積極的に研修に参加できるように努めます。
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。		11		地域の子供との交流の場を設けるように努めます。
	33 （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	11			参加出来る機会に従業員が参加するよう図っています。
	34 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	11		送迎時や連絡長を通じて、子どもたちの様子については、密に共有している	
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレンツ・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		11		保護者様へのアンケートを行い、状況に合わせて計画を立てていきたいと思います。

保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	11		見学、面談の際に代表、管理者が説明を行っています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	11		子どもや保護者の意見を尊重しながら作成しています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	11			計画書を作成し同意を頂いています。時間の都合で十分ではない場面もあるため、真摯に対応出来るよう計画を行います。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	11		送迎時、連絡帳を基に面談や相談等に対応しています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		11		保護者、児童への聞き取りを行い、慎重に判断し必要に応じて企画出来るよう図ります。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	11		苦情についてはできるだけ迅速に対応するよう努めています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	11		活動行事をHPにて、子供たちの様子や活動内容について詳しく発信しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	11		個人情報の取り扱いには十分注意しています。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	11		絵カード、ホワイトボード等を用い工夫します。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		11		現状行えていない為、今後企画を検討実施していくけるよういいています。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		11	各種マニュアルは策定されています。	着手出来ていない事故・防犯に関する訓練を積極的に実施していきます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	11		定期的に災害・避難訓練は行っています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	11		服薬やてんかん発作やアレルギー体質の子どもの状況は共有しています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	11		保護者からの申し出により把握しています。	医師の指示書があれば提出してもらうように努めます。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	11		安全計画は作成し常に必要な措置については検討を重ねています。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	10	1	個々の応じた危険予知を見定め、家庭へ連絡を行いK Y T活動へ繋げるよう努めています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	11		ヒヤリハット事案が発生した時は事業所内ですぐに共有し、再発防止策を都度検討しています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	11		定期的に勉強会を行い周知徹底を行っています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	11		現在身体拘束が必要な利用者は該当なし	